

性暴力救援センター大阪・ SACHICOの今までとこれから

2025年5月27日

特定非営利活動法人 性暴力救援センター・大阪SACHICO

久保田康愛

～72時間

ワンストップ支援センターでの支援内容

からだ

- ・被害の経過確認
- ・全身の外傷の有無（外性器・肛門の変化を含む）
- ・アルコール・薬物使用の有無
- ・証拠物採取（膣内容物、血液・尿など）と保存
- ・緊急避妊
- ・性感染症の確認と予防

- ・人工妊娠中絶
- ・性感染症の治療
- ・妊娠継続・出産への支援

こころ

- ・心理教育
- ・開示へのねぎらい（はなしてくれてありがとう）
- ・被害であることの説明（あなたのせいではない）
- ・ストレス反応の対処（暴力を受けたあとの正常な反応）
- ・わたしのからだはわたしのもの わたしのこころはわたしのもの（あなたがえらぶ）

- ・精神科での専門的な治療
- ・心理療法

暮らし

- ・被害状況の確認
- ・安全の確保（加害者との関係、被害の回数・期間、居場所の確保など）
- ・被害としての認知（警察への申告や児童相談所への通告）
- ・生活困窮への援助
- ・権利擁護のための司法支援の提供

SACHICOの変遷と国内の動き

SACHICO

2010年 設立

2013年 NPO

全国連絡会発足

2015年 大阪府内

協力病院ネットワーク

2017年 補助金交付

2023年9月

拠点病院より

診療協力減少

2024年3月

診療協力終了

2025年4月～

補助→委託

連携型（診療機能あり）

センターへ

内閣府と関係省庁の動き

2012年 SACHICOをモデルに性犯罪・性暴力被害者のためのワンストップ支援センター設立の手引きを作成

2015年 内閣府モデル事業開始

性暴力被害者支援ネットワーク

証拠物採取・管理マニュアルを

大阪府危機管理室とSACHICOとで作成

2018年 全都道府県にワンストップ支援センター設立

2020年 性犯罪・性暴力対策の強化の方針

拠点病院の充実強調

関係府省決定

2022年 女性版骨太の方針2022

性犯罪・性暴力対策としての生命の安全教育

2023年 更なる強化の方針

「こども大綱」閣議決定

「困難な問題を抱える女性への支援に関する法律」

2024年 「こどもまんなか実行計画2024」

「女性活躍・男女共同参画の重点方針2024」

性暴力救援センター・大阪SACHICO

警察・検察

2005年 犯罪被害者等基本法

2017年 刑法改正

強制性交等・強制わいせつ

非親告罪化

性別を問わない

性交同意年齢 13歳

2022年 AV出演被害防止・救済法

2023年 刑法改正・DV法改正

不同意性交等・不同意わいせつ

性交同意年齢 16歳

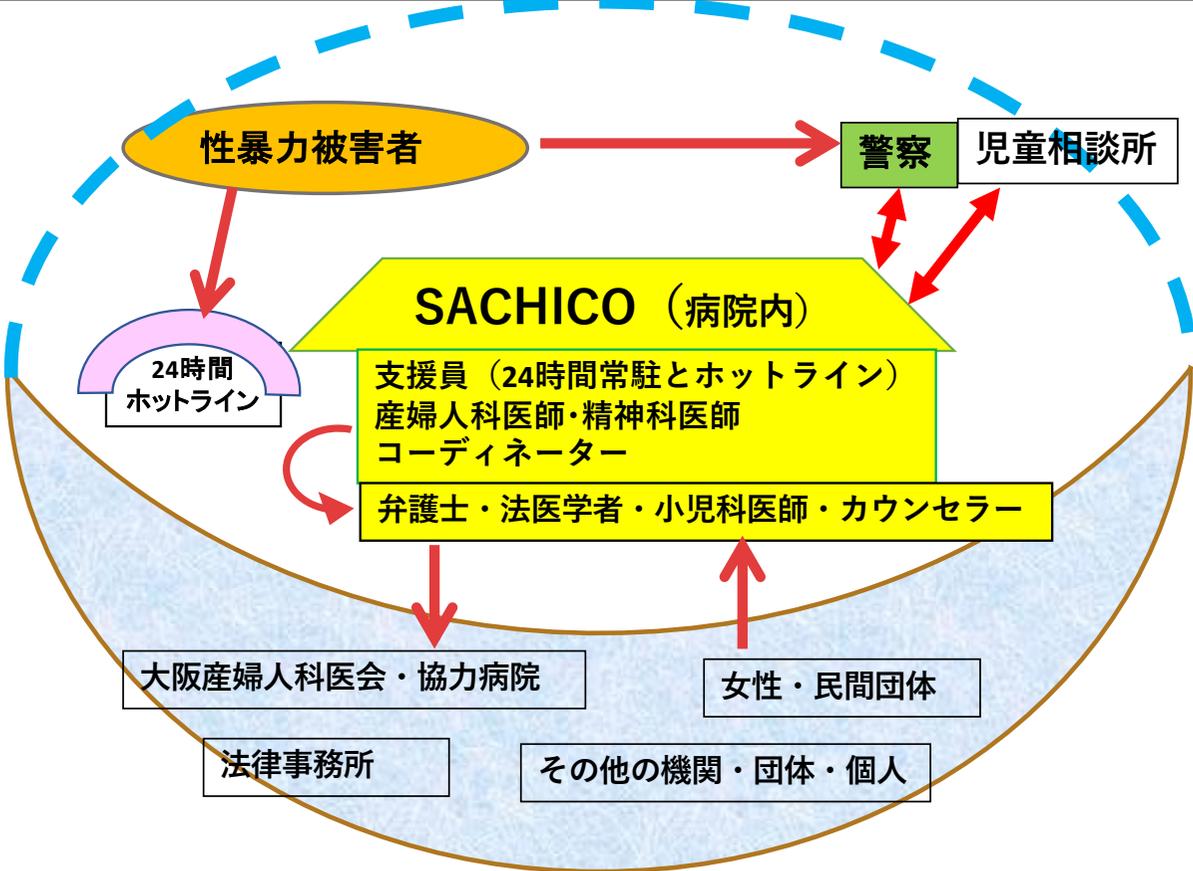
撮影

面会

婚姻関係の有無を問わない

女性支援法

病院拠点型ワンストップセンター
性暴力救援センター・大阪SACHICOの
ネットワーク



運営体制の課題
 支援員の育成
 安定した雇用が難しい
 コーディネーターを含めて14名
 診療・相談にあたる医師に報酬なし

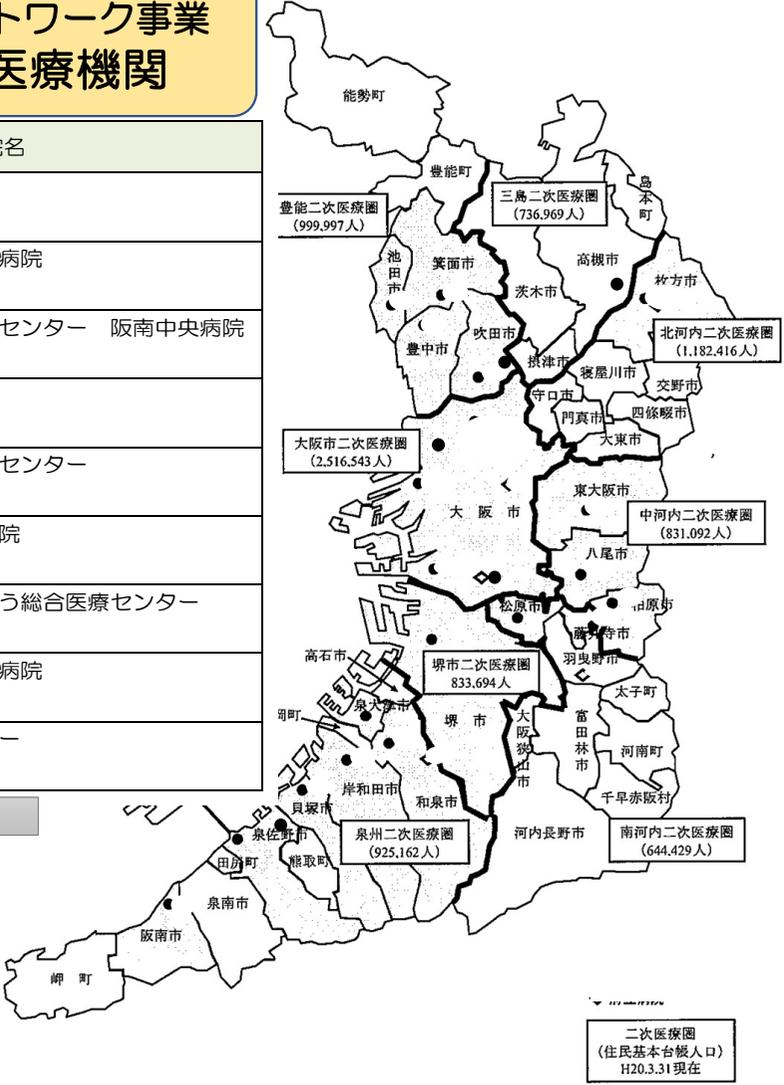
後の被害申告に備えて証拠物保存 SACHICOで採取 519検体 協力病院で採取 67検体

大阪府性暴力被害者支援ネットワーク事業 SACHICOと10協力医療機関

医療圏	住所地	病院名
豊能	吹田市	大阪府済生会吹田病院
三島	高槻市	社会医療法人愛仁会 高槻病院
南河内	松原市	社会医療法人阪南医療福祉センター 阪南中央病院
堺市	堺市	堺市立総合医療センター
泉州	泉大津市	泉大津市立周産期小児医療センター
	泉佐野市	医療法人 定生会 谷口病院
	泉佐野市	地方独立行政法人 りんくう総合医療センター
大阪市	大阪市	社会医療法人愛仁会 千船病院
	大阪市	府立急性期総合医療センター

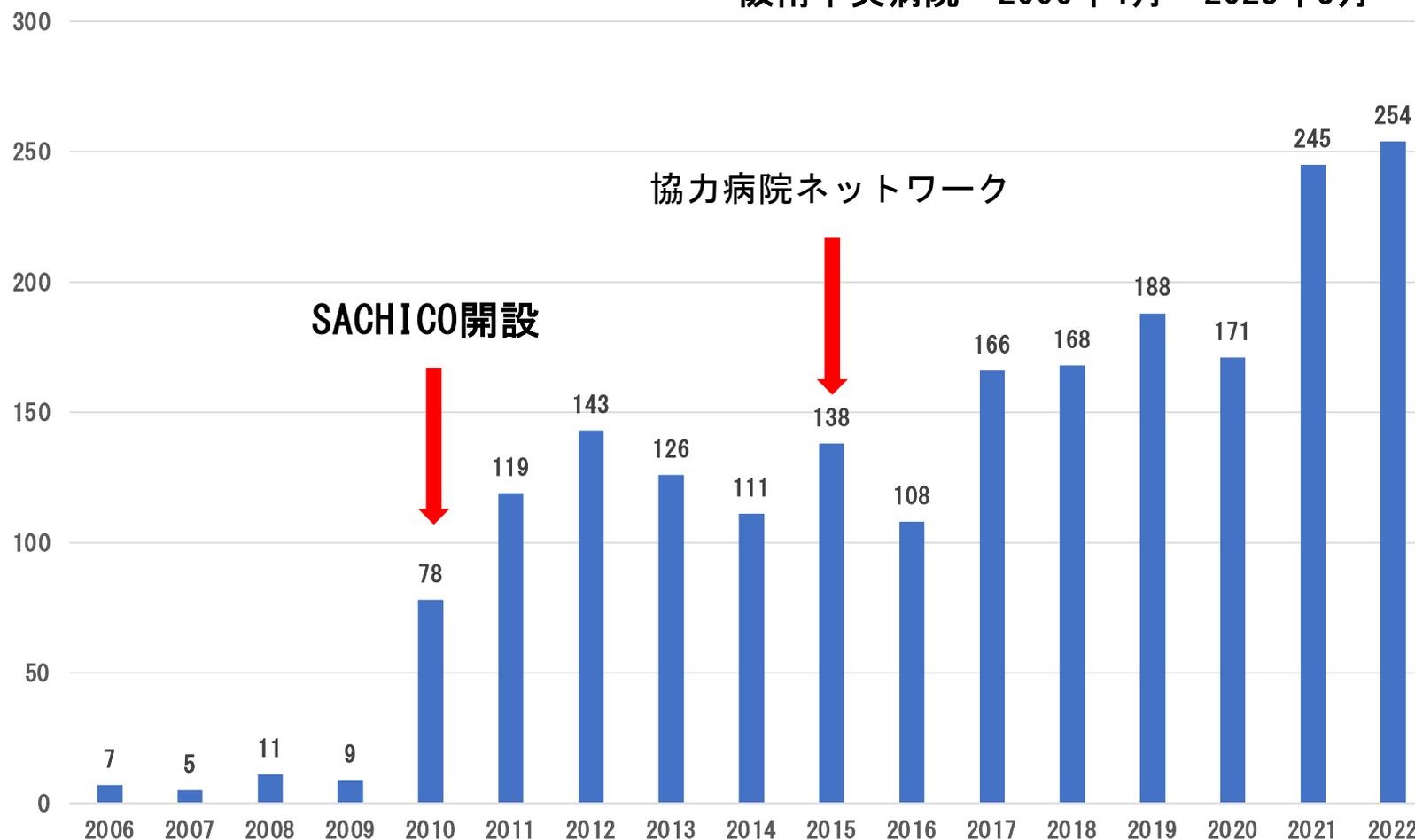
北河内 枚方市 市立ひらかた病院
 中河内 八尾市 八尾市立病院

二次医療圏に一か所以上が目標

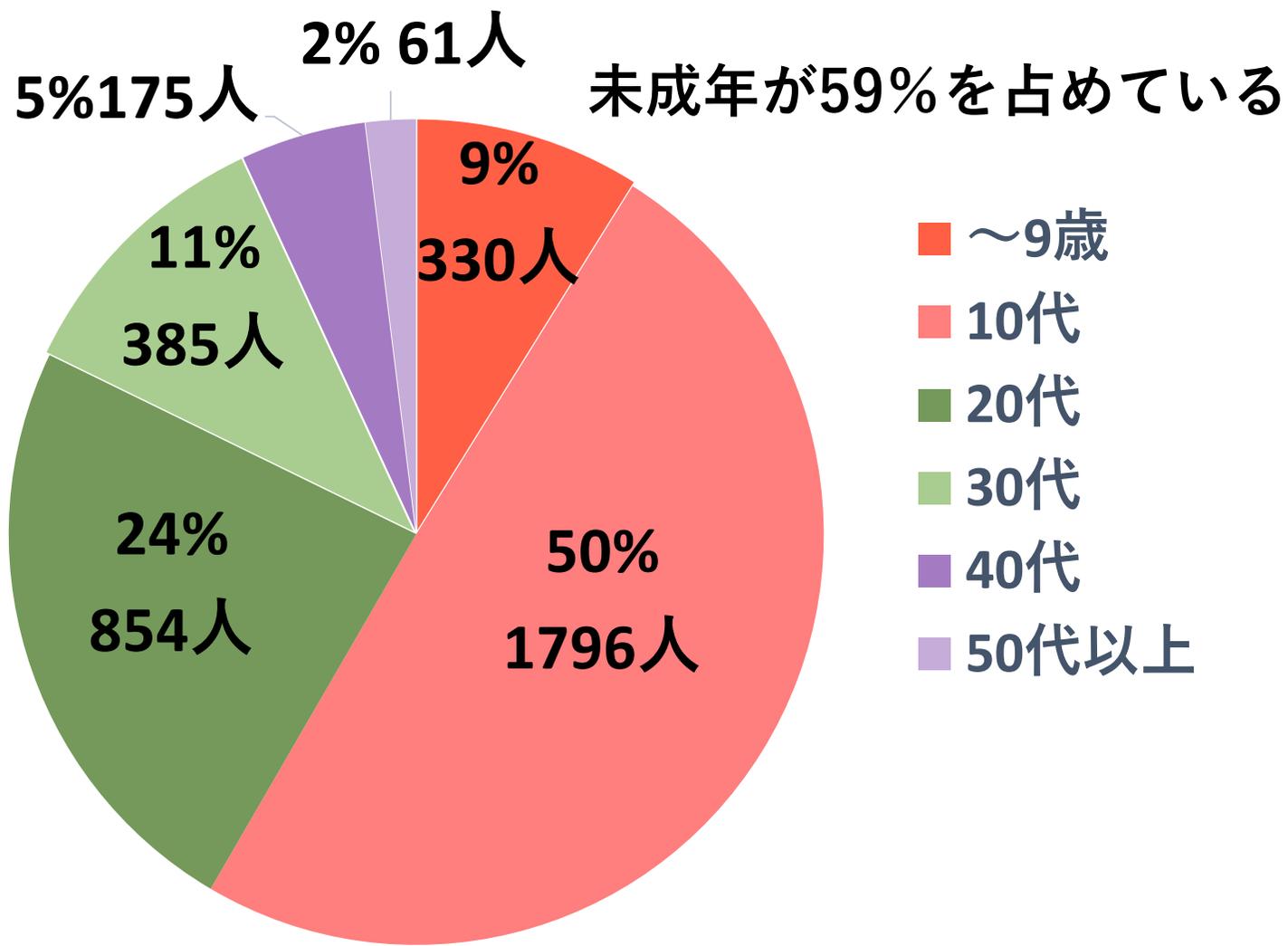


不同意性交等・不同意ワイセツ被害者数（8割は不同意性交等） 年次変化

阪南中央病院 2006年4月～2023年3月



13年間の初診3601人の年代別割合（2010年4月～2023年3月SACHICO）



性暴力とは

同意のない・対等でない・強要された性的行為はすべて性暴力

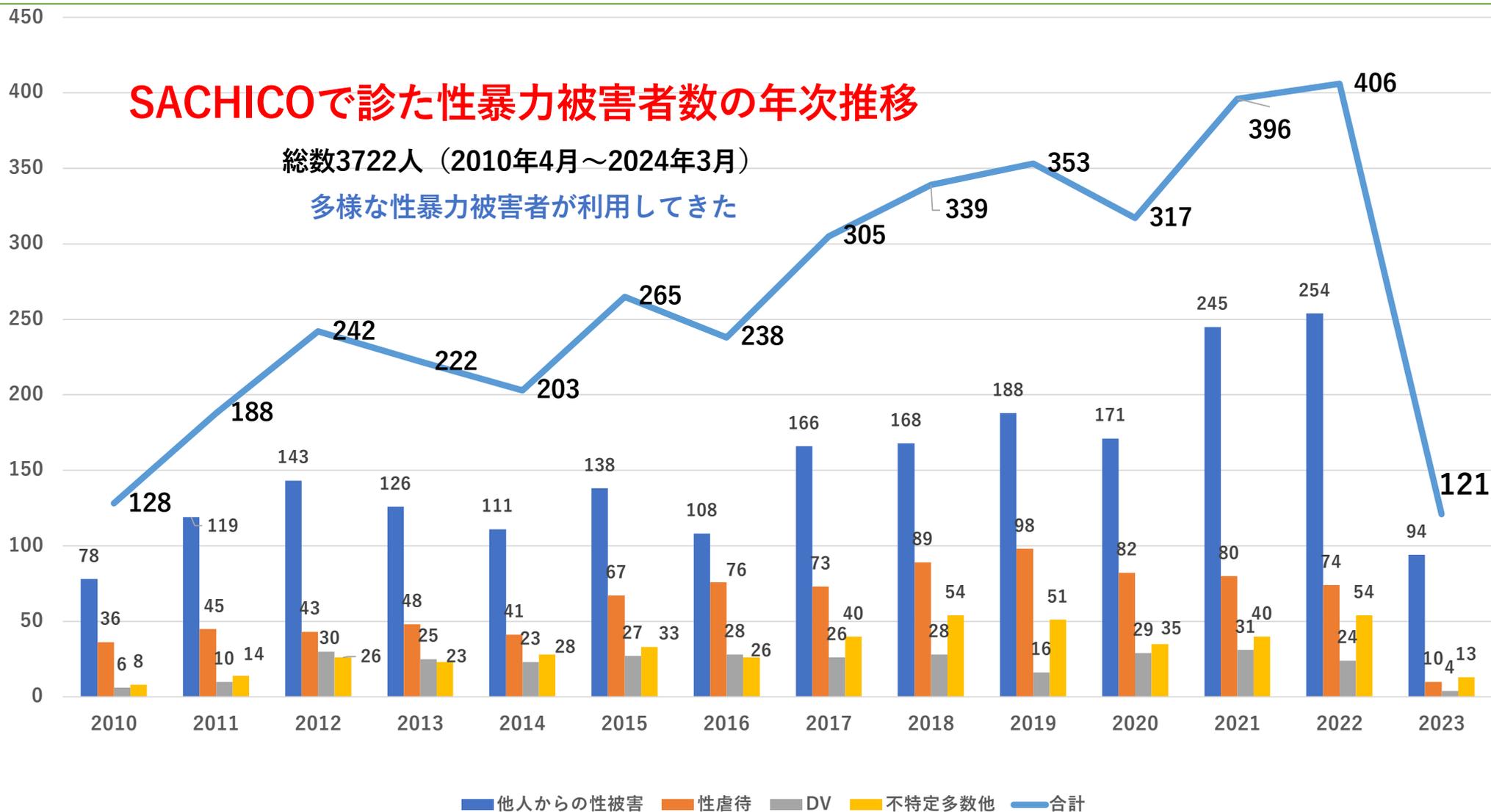
1. 不同意性交等（膣性交・口腔性交・肛門性交）
不同意わいせつなどの性暴力（他人からの被害）
2. 子どもへの性的虐待（家族からの被害）
3. DVとしての性暴力（パートナーからの被害）
4. その他（性的搾取・不特定多数・避妊のない性交など）
5. 身体接触のない被害（画像被害など）

これらは、「被害者である女性の性を踏みにじり、人間としての尊厳を脅かす」という意味で、人権問題であり、医療問題である

SACHICOで診た性暴力被害者数の年次推移

総数3722人（2010年4月～2024年3月）

多様な性暴力被害者が利用してきた



2024年度 電話相談・来所者数

- 電話相談 3398件
非通知286、無言電話298、公衆電話79、#8891 427(13%) AV8 男性相談142(4%)
- 来所相談 来所件数616件 (SACHICO346件、分室270件)
実人数198人 産婦人科診療あり (分室) 71人 診療なし127人
夜間休日来所 26%
関係機関来所件数36件

	10代未満	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代以上
診療あり	18(25%)	45(63%)	6	2	0	0	0	0
診療なし	12(9%)	46(36%)	28(22%)	26(20%)	10(8%)	1	1	1

	不同意性交等	不同意わいせつ	性的虐待	DV	AV	その他
診療あり	24(34%)	6(8%)	27(38%)	1(1%)	0	13(18)
診療なし	50(39%)	37(29%)	16(12%)	12(9%)	0	12(9%)

初潮前の女兒の診察 司法面接前に診察を行う場合の難しさ
過去の被害による生きづらさ→引きこもり・不登校など

大阪府下協力病院受診者数

	2022年度	2023年度	2024年度（～12月）
警察同伴あり	13(76%)	72（84%）	94（78%）
警察同伴なし	4（24%）	14（16%）	26（22%）
合計	17	86	120

SACHICO来所者数

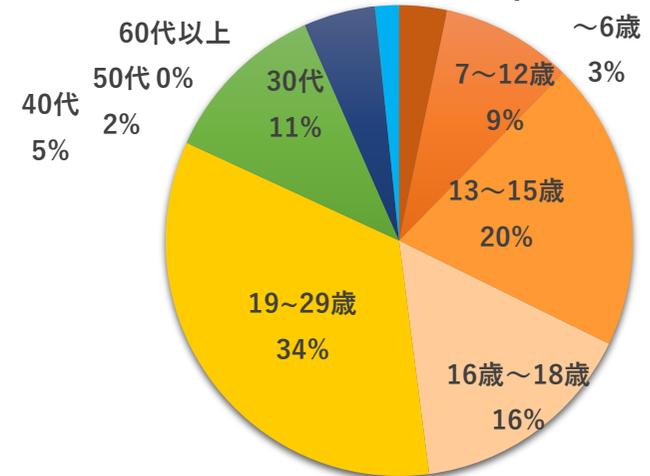
	2022年度	2023年度	2024年度（～12月）
警察同伴あり	128（32%）	60（50%）	3（6%）
警察同伴なし	258（68%）	61（50%）	50（94%）
合計	406	121	53
相談のみ		113	106

- 協力病院ネットワークは、分娩に対応さらに婦人科救急に対応する医療機関で、きわめて多忙
- 被害者診療に対する報酬は、定められていない
- 被害内容の確認、証拠物採取や所見記載を行うことについて、教育を受ける機会は少ない
- 被害をきくことによるスタッフの心理的な負担も大きい(二次受傷)
- 捜査・裁判への協力はさらに大きな負担になる
- 中長期支援に関わるソーシャルサポートは医療機関だけでは担いきれない

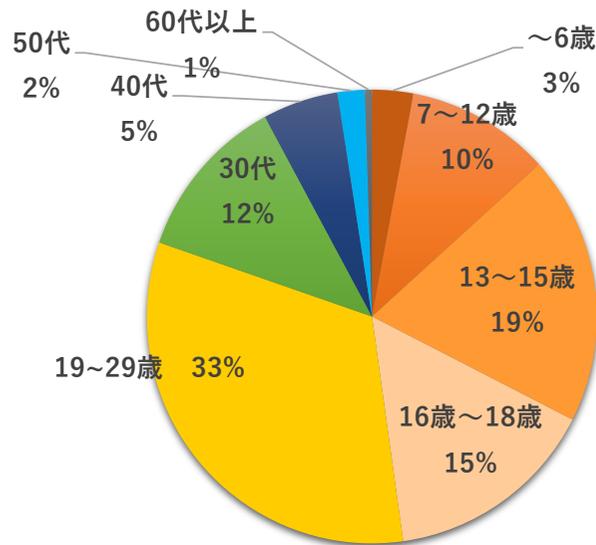
【性別・年齢】

	女性	男性	その他
2022年度	401	4	1
2023年度 診療あり	118	2	1
2023年度 診療なし	112	1	0

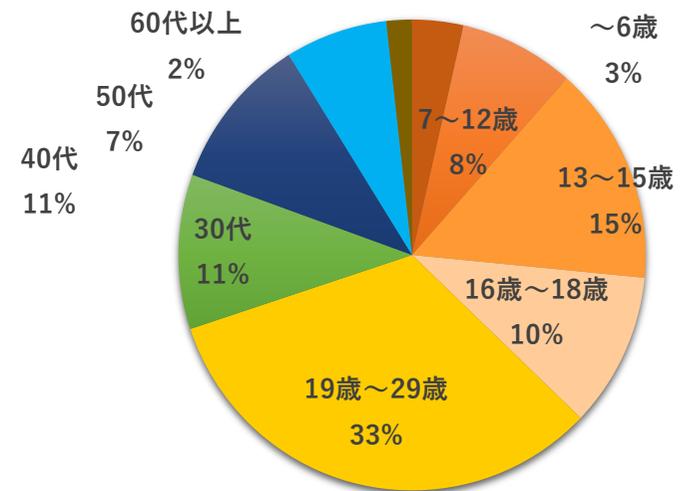
被害者の年齢 2023年度
産婦人科診療あり(121例)



被害者の年齢 2022年度(406例)

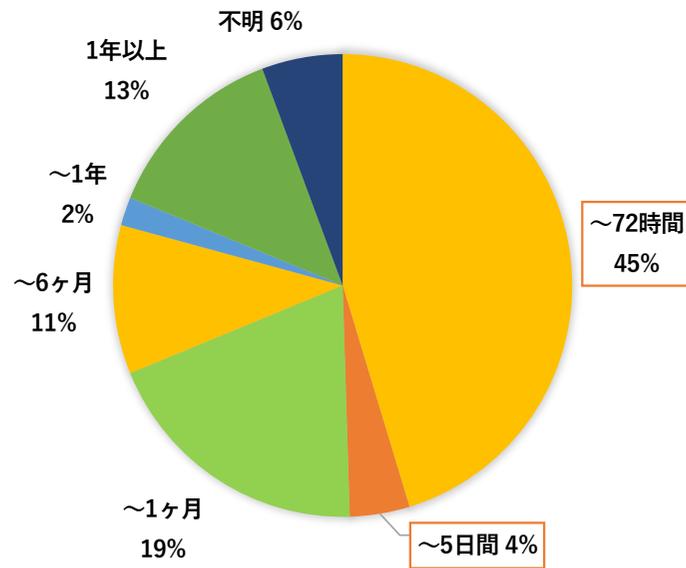


被害者の年齢 2023年度
産婦人科診療なし・相談のみ(113例)



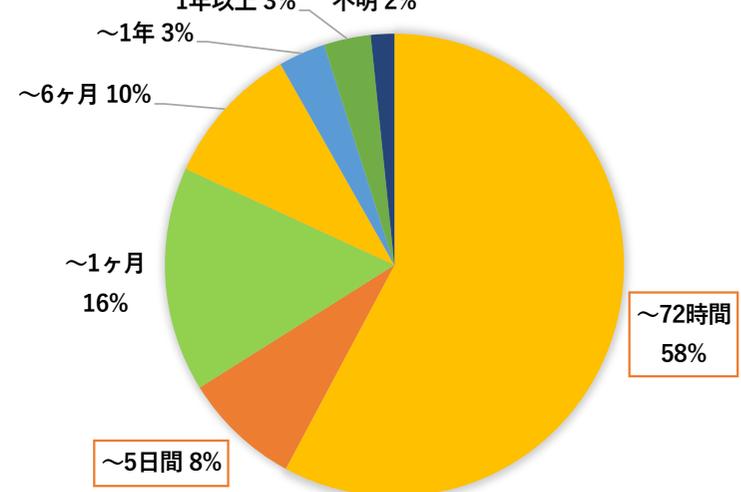
【被害から初回電話までの時間】

被害から初回電話までの時間 2022年度 (406例)



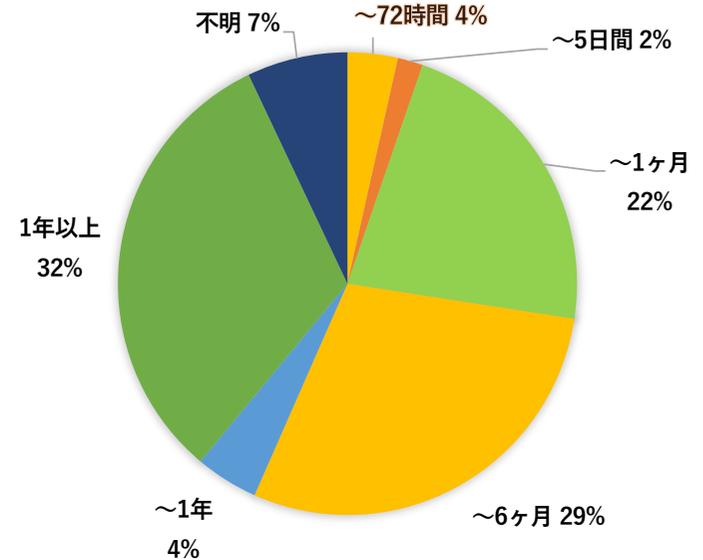
被害から初回電話までの時間 2023年度

産婦人科診療あり (121例)



被害から初回電話までの時間 2023年度

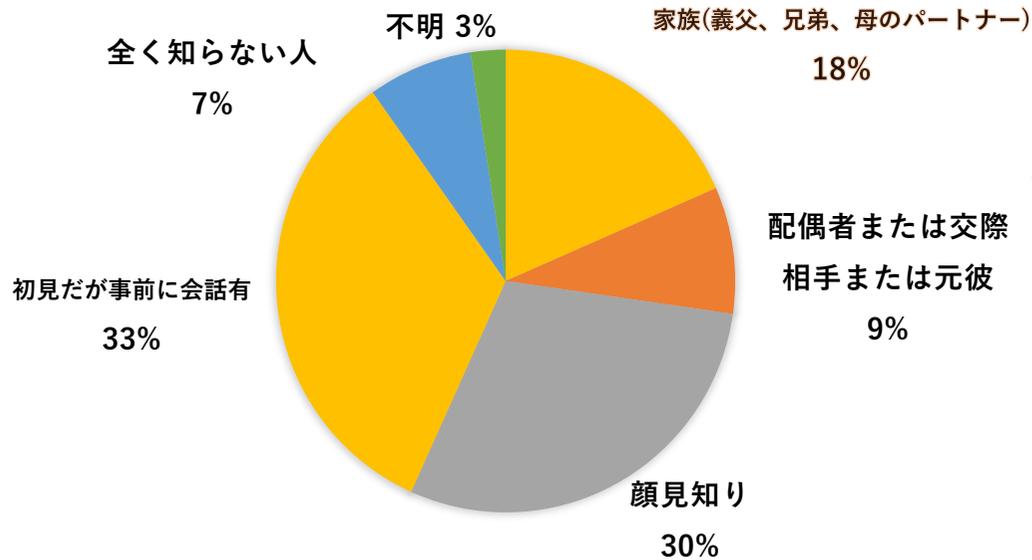
産婦人科診療なし・相談のみ (113例)



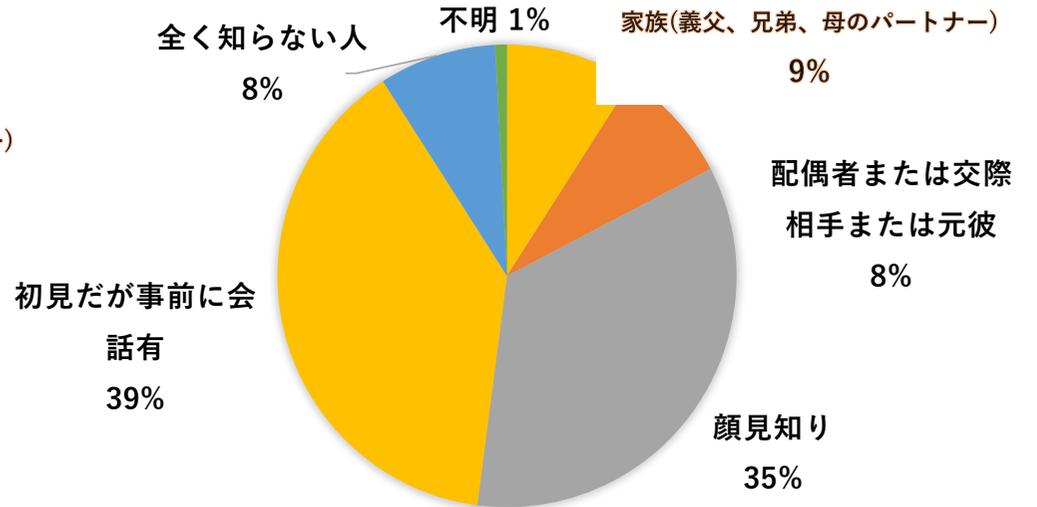
緊急避妊への対応・証拠物採取が可能な時期を過ぎた過去の被害に関する相談が半数以上を占めた。
産婦人科医が全ての診療を担う必要があるのか？

【加害者との関係】

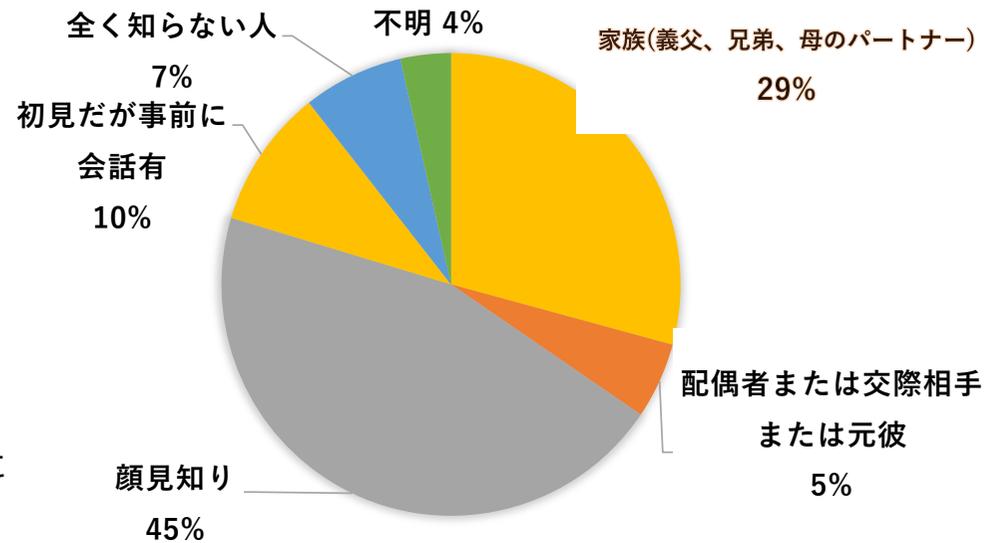
加害者との関係 2022年度



加害者との関係 2023年度 産婦人科診療あり



加害者との関係 2023年度 産婦人科診療なし・相談のみ



家族：実父、継父、母のパートナー、兄弟
 配偶者または交際相手（現在または過去

生活の安全が守れるのか

顔見知り：知人・友人・先輩・同僚・上司、
 コーチや講師、教師など

誰にも言えない 言っても対応してもらえない

好きだったから被害ではない

初見だが事前に会話あり：SNSなどを通して知り合いだった
 オンライングループミング、SNSに依存した対人交流

【他機関への紹介】

弁護士紹介

	あり	なし
2022年度	54 (13%)	352 (87%)
2023年度 診療あり	21 (17%)	100 (83%)
2023年度 診療なし	34 (30%)	79 (70%)
2024年度	56 (28%)	142(72%)

精神科紹介

	あり	なし
2022年度	16 (4%)	390 (96%)
2023年度 診療あり	2 (2%)	119 (98%)
2023年度 診療なし	11 (10%)	102 (90%)
2024年度	5(3%)	193(97%)

シェルター等紹介

	あり	なし
2022年度	3 (1%)	403 (99%)
2023年度 診療あり	0	121 (100%)
2023年度 診療なし	7 (6%)	106 (94%)
2024年度	6(3%)	192(97%)

カウンセリング紹介

	あり	なし
2022年度	11 (3%)	395 (97%)
2023年度 診療あり	2 (2%)	119 (98%)
2023年度 診療なし	0	113 (100%)
2024年度	3 (2%)	195(98%)

性暴力被害当事者への対応とワンストップ支援センターの位置づけ

